

# ふくおかのふくし

9月号  
2010.123号

まごころ込めて育てています。周防学園がつくる  
ぶどう（平成22年8月19日 豊前市）

- 古賀市おでかけサポート事業・大野城市高齢者移動支援バス「ふれあい号」

## 地域が応援 高齢者の**買い物・通院**

- 共助社会**づくりに向けた市町村社協モデル指定

大牟田市社協が目指すもの～どげんかせんとできん～

- 施設利用者の**安心・安全**を守るために

## 社会福祉施設の**災害対策**

- 福祉の職場合同就職面談会で **1,205人**が求職活動

- 高校生介護等体験特別事業

介護体験を通じて**命の尊さ**を実感

- 平成22年福岡県社会福祉大会開催



# 地域が応援 高齢者の買い物・通院 古賀市おでかけサポート事業・ 大野城市高齢者移動支援バスふれあい号

地域の高齢化が進むと、「高齢のため、バス停まで行くのも困難になった」、「公共交通機関の縮小を余儀なくされた」等の理由から外出を控える方も増えています。高齢者がいつでも外出できる地域を目指して、高齢者の外出支援を地域で支えている古賀市と大野城市の取り組みを紹介します。

高齢者の外出を地域の手で  
古賀市おでかけサポート事業



古賀市おでかけサポート事業



公民館でお出かけサポートを待つ間も笑顔がこぼれます。



周辺はなだらかな坂に囲まれた住宅地

古賀市の花鶴丘3丁目は、昭和33年から分譲され、福岡市のベッドタ

ウンとして、発展してきました。戸建て551件から成り、現在、人口は約1,480名。少子化・核家族化に伴い団地の高齢化率は24%を越えました。

社協が主催した住民ボランティア

講座で話し合う中で、車に乗れず、買い物や通院ができない高齢者が増えていくという声が上がります。団地の高齢化を心配した自治会、福祉会、民生委員等が、高齢者の外出を支援するボランティアを始めることとなりました。

「古賀市おでかけサポート事業」と名付けられたこの事業は、地域のボランティアの自家用車によって実施されており、現在、運転ボランティアとして登録されている方は15名います。目的に応じてコースが分かれています。毎週火曜日で、毎月40名程の高齢

者が利用しています。

現在では、すっかり地域に根付いたこの事業ですが、実施にあたってはたくさんの方々の協力がありました。「事業の実施にあたっては、福岡市東区の和白東ボランティアオアシスの移送ボランティアを見学に行き、参考にしました。保険については古賀市社協と相談して、全社協のボランティア保険に申し込みました。何しろ初めてのことで、課題を1つずつ手探りで解決してきましたが、実現できたのは、自治会、福祉会、民生委員一丸となって取り組んだからです。町づくりの基本は仲間づくり。こうして培った仲間を大切にこれからも自分達の地域を自分達で元気にして行きたいです。」と山本信也自治会長は語られました。

このサービスを利用されている方からは、「一人暮らしだけど、このサービスのおかげで安心して暮らせます。遠方に住む娘や息子の所にも行きましたが、ここは見守りなどが活発で、町内がすごく住みやすい。車中のおしゃべりが一番の楽しみ。」との声

も聞かれました。

高齢者の安心・安全を乗せて走れ  
〜大野城市南地区高齢者移動支援  
バス「ふれあい号」〜



車内は地域の情報交換の場。自然と笑顔がこぼれます。



丘陵地で坂が多く、荷物を持って坂をあがるのは困難。



大野城市南地区高齢者移動支援バス「ふれあい号」

週に2・3回ふれあい号を利用されるという90歳の男性は、「買い物も、通院も自分で行けるようになって生

活に張りができ、若返ったようです。ふれあい号は坂が多い地域に住む高齢者にはなくてはならない事業です。」と話してくださいました。

高齢者が日常生活を営む上で必要な買い物や通院ができるよう公共交通機関を補完した取り組みが高く評価され、平成22年3月に、大野城市南地区コミュニティ運営委員会と大野城市福祉高齢部福祉課は、「ふくおかを元気にする共助社会づくり活動表彰 共助社会づくり奨励賞」を受賞しました。

高齢者移動支援バス「ふれあい号」は、高齢者の見守りなどの新たな取り組みにつながるとともに共助社会づくりの協働モデルとして他地域への波及が期待されています。

大野城市南地区コミュニティ運営委員会では、昨年4月から、65歳以上が無料で乗車できる高齢者移動支援バス「ふれあい号」の運行を始めました。高齢化率が20%近い、坂道の多い南地区の高齢者に「週2・3回

の病院・買い物などを提供しよう」との思いから始まったこの事業は、現在、定員オーバーになることもしばしばです。

大野城市では、地域により抱える課題が違うことから、市内を4コミュニティ地区に分け、地域の課題を地域と行政が共働などにより解決する取り組みを進めています。

その中でも、大野城市南地区は、昭和40年代以降に山を切り開いてで

きた大規模な住宅地で、丘陵地で坂が多いことが特徴です。

「ふれあい号」は10人乗りのワゴン車で、市から無償提供を受けました。燃料費や保険料などの車両に係る費用は市が負担し、地域のボランティアが交代で務める運転手の配置や、バスの運行管理は南地区コミュニティ運営委員会が担当しています。

大野城市南地区コミュニティ運営委員会では、このバスがもつと多くの高齢者の方に役立てていただけるよう、利用者の声や運転手同士の情報交換、65歳以上高齢者対象のアンケート等を実施し、ルートや停留所の見直しを行いました。

【問合せ先】総務部 広報室  
TEL092(584)3377

# 共助社会づくりに向けた市町村社協モデル指定 大牟田市社協がめざすものゝどげんかせんとできんゝ

大牟田市は、高齢化率が福岡県の平均を大きく上回る30%に迫り、2025年には40%に近づくものと予想されています。高齢化とともに少子化も進行しており、昭和30年代半ばに21万人近くに達した人口も、平成22年では12万7千人弱となり、今後、将来にわたって更に人口が減少していくのは避けがたい状況です。

身の周りの生活課題については、かつては家族や地域の助け合い等によって対処してきましたが、都市化や核家族化による社会の変化、家族構成の変容、さらには高齢化や人口流出によって、地域機能は衰退の一途をたどっています。

また、市の代表的な地縁組織である「町内公民館」の加入率も、昭和40年代には80%であったものが、現在は30%台にまで落ち込み、地域のつながりはますます希薄化しています。

さらに、高齢化が進み人口は減少しているにも関わらず、世帯数が増加しているという状況は、一人暮らし高齢者世帯が増加していることを意味し、近隣の人間関係が希薄化する中で、支援を必要とする人を孤独・孤立化という狭い空間に閉じ込める結果となっています。

どげんかせんとできん！

大牟田市社協では、こうした市の現状と将来に危機感を持ち、さまざまな生活課題を抱え支援を必要とする人たちが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための「声かけ・見守り」「相談」「連携」などの日常的な支援は、『絆』（地域住民同士の温かいつながり）があつて初めて実現していくものだという原点に立ち返り、「どげんかせんとできん」という意識を共有しました。



熱心な議論が行われた「校区社協あり方検討委員会」

市社協では、全校区に設置された校区社協とともに「支え合いの絆」を最重点理念として、自立した地域社会を創造していくための基盤づくりを進め、「校区社協あり方検討委員会」の設置による「新・校区社協ハンドブック」の策定や多職種協働による「大牟田市地域福祉実践計画」の策定など、地域、市社協、行政、事業所がパートナーを組みながら事業を展開しています。

## モデル指定事業の取り組み

このような中、大牟田市社協では福岡県社協のモデル指定を受け、「ふれあい活動推進員」の設置に向けた取り組みを行っています。

現在、民生委員・児童委員や校区社協に所属する福祉委員、ボランティア等の皆さんが小地域福祉活動の中心を担い、見守り訪問活動やふれあい・いきいきサロン、多世代交流事業などさまざまな活動を行っています。

しかし、1000〜1500世帯に1名の割合で配置されている福祉委員や1700〜3600世帯に1名の割合の民生委員では、要援護者の見守り・声かけや簡単な手伝いなど、日常的なきめ細かな活動には限界があると

思われます。

そこで、特に近隣住民による取り組みとして、普段の生活の中で自然に見守り、何か変わった点があれば、民生委員や福祉委員につなぐ役割を担う「ふれあい活動推進員」の配置に向けて事業を進めています。



福祉委員による高齢者の見守り訪問活動

かつては地域の中で当たり前に行われていたご近所同士の助け合い・声かけをもう一度取り戻し、皆がお互いに助け合う共助社会づくりに向け、大牟田市社協と福岡県社協が連携して『絆』をキーワードに取り組んでいきます。

【問合せ先】  
地域福祉部 地域課  
TEL092(584)3377

# 施設利用者の安心・安全を守るために

## 社会福祉施設の災害対策

福岡県社協では、近年の度重なる集中豪雨や台風、地震、火災等の様々な災害に対処するため、社会福祉法人・施設の防災対策、そして災害時における対応策の推進を各種別協議会と連携して取り組むこととしました。

### 社会福祉施設委員会 第1回災害対策専門委員会開催

県内の社会福祉法人・施設全体の災害支援対策を実施するためには、各種別協議会と連携し、施設間のネットワークを最大限活かしていくことが不可欠です。

そのため、福岡県社協は、社会福祉施設委員会内に災害対策専門委員会を設置し、社会福祉法人・施設における具体的な災害対策について取

り組むこととしました。

8月5日に、春日市のクローバープラザで第1回の専門委員会が行われ、各種別協議会を代表して2名ず

つ選出された委員が集まりました。

開会のあいさつで、隈本英臣福岡県社協常務理事が、県社協や種別協議会の災害に対するこれまでの取



開会のあいさつをする隈本英臣福岡県社協常務理事



第1回災害対策専門委員会（平成22年8月5日）

組みを振り返り、委員会では、災害対策強化の重要性を改めて認識しました。

続いて、委員会では、委員長に津屋崎園（福津市）の白石伊津美施設長を、副委員長に板屋学園（福岡市早良区）の椎葉亮副施設長を選任し、社会福祉法人・施設における具体的な災害対策の今後の取り組みについて話し合いました。

また、福岡県社協が、6月中旬から7月上旬にかけて行った水害や土砂災害の危険性を調べるための施設訪問調査をもとに作製したアンケート項目を委員会に諮りました。

福岡県社協ではこのアンケートを全施設に送付し、9月上旬には集計・分析を行うことにより、各施設における取り組み状況・課題等を把握し、今後の社会福祉施設の災害対策を進めていくために活用します。

【問合せ先】

福祉施設部 施設課

TEL092(584)3377

# 福祉の職場合同就職面談会で

# 1,205人が求職活動

福岡県社協は、8月18日に春日市のクローバープラザで、福祉の職場合同就職面談会を開催しました。

面談会には、131法人・事業所から884人の求人があり、当日は1,205人が求職活動を行いました。

開会式の主催者あいさつで、平山良明福岡県社協会長は「厳しい経済不況の中、福岡県社会福祉協議会では、麻生渡福岡県知事が推進されているさまざまな緊急雇用対策事業にも積極的に取り組んでおります。面談会にご参加の皆さん、本日は是非とも各施設や事業所の方から、現場の状況などを積極的にお聞きください。一人でも多くの方が、明日の福岡県の福祉サービスを支える貴重な人材となって、現場の第一線で活躍されることを心から期待申し上げます。」と参加者に呼びかけました。

続いて、麻生渡福岡県知事の激励の言葉を、福岡県福祉労働部福祉総務課 神谷龍治課長が「この面談会が一人でも多くの方の就職に結びつ



福岡県福祉総務課神谷課長

福岡県社協平山会長

く機会となり、福祉・介護分野の優秀な人材となりますことをお祈りします。」と代読されました。

## 福祉の職場で働く方々から

### メッセージ

今回の面談会では、福祉の職場合同就職面談会に来られる方に、福祉の職種や資格についてより理解していただき、スムーズに面談に臨んでいただくために、福祉の職場で働く方々が福祉の仕事や職種について説明したビデオレターを作成し、面談

会で上映しました。

また、会場には、面談会に来られた方々が、福祉の仕事や職種などについて質問・相談できる「福祉の仕事何でも相談窓口」を設置し、4人の施設の職員が常駐し、訪れた相談者の個別な質問に丁寧に対応しました。



福祉の仕事何でも相談窓口

この他にも、面談会では、障害者の方々が施設でつくられた製品を販売する「障害者がつくるまごころ製品展示・販売コーナー」を設け、来場者にパンやクッキー、木工品や縫製品など、障害者のまごころ製品のアピールを行いました。

## 緊急雇用対策特別相談窓口を設置

一昨年度からの不況の影響を受け、今回の就職面談会でも、「緊急雇用対策 特別相談窓口」を設置しました。窓口では、福祉・介護についての知識や経験のない失業中の方々にきめ細かな就労支援を行うため、8名の相談員が福祉の職場への就労を希望する方への相談にあたりました。



緊急雇用対策特別相談窓口

## 【問合せ先】福岡県社協

福祉人材センター

TEL092(584)3310

# 高校生介護等体験特別事業

## 介護体験を通じて命の尊さを実感

福岡県社協が、平成9年度から実施している「高校生介護等体験特別事業」では、人格形成のうえで重要な時期にある高校生たちに、介護体験を通じて福祉への理解と関心を深めてもらうことを目的としています。

本年度は、県内4つの高等学校が参加し、4日間延べ187名の生徒が高齢者福祉施設で介護等体験を行いました。

生徒たちは、事前学習として、福岡県社協介護実習課が実施する介護講座を受講し、高齢者の身体状況や介護に関する基礎知識について学びました。

### 平成22年度高校生介護等体験特別事業

学校	実施施設	実施期間
久留米市立南筑高等学校	特別養護老人ホーム山翠園（久留米市）	7月26日（月）～ 7月29日（木）
福岡県立西田川高等学校	特別養護老人ホーム寿楽園（田川市）	8月9日（月）～ 8月12日（木）
福岡常葉高等学校	特別養護老人ホームちくしの荘（筑紫野市）	7月31日（土）
		8月20日（金）
		8月21日（土）
		8月28日（土）
福岡県公立古賀竟成館高等学校	特別養護老人ホームみどり苑（古賀市）	7月27日（火）～ 7月30日（金）



介護に関する基礎知識について学んだ介護講座



緊張しながらも真剣に取り組んだ施設での体験活動



施設での体験活動では、慣れない状況にとまどいながらも利用者者と会話したり、施設職員の指導のもと、食事配膳や車イスの介助等を行いました。

参加した高校生からは、「レクリエーションや誕生会を企画して利用者との交流を深めるとともに、施設の夏祭りを通じて、地域の方々と交流する機会を持つなど、日頃できない貴重な体験をすることができました。」との声が聞かれました。

### 高校生介護体験を通じて

最初は何を話したらいいかわからなくて、戸惑ってばかりでしたが、勇気を出して話しかけた私に、施設の高齢者の方はやさしい笑顔で応えてくれました。

この体験を活かして、もっと高齢者の方々の手助けをしてあげたいと強く思いました。

（久留米市立南筑高校 1年 女子）

今回の介護体験ではコミュニケーションの大切さを実感し、特に福祉とは高齢者の方を心の面でも支えることだと思いました。福祉に関わる仕事のすばらしさを知り、これからも福祉に関わる活動を続けていきたいです。

（福岡常葉高等学校 1年 男子）

### 【問合せ先】

福祉人材・情報部 人材・情報課  
TEL 092(584)3310

# 平成 22 年福岡県社会福祉大会開催

福岡県社会福祉協議会、福岡県共同募金会では、平成22年10月22日（金）に、クローバープラザ（春日市）で「平成22年福岡県社会福祉大会」を開催します。

**行政・社会福祉関係者の積極的な参加を**

厳しい社会・経済情勢が続く中、従来の社会保障・社会福祉制度だけでは複雑・多様化する地域住民の生活課題に対応することが困難となっており、地域における新たな支えあいの仕組みづくりが求められています。

こうした中、国では、規制改革、地域主権改革、新しい公共など、社会福祉法人の役割やあり方を含め、さまざまな検討が進められています。

このようなときこそ、私たち社会福祉関係者は活動の原点に立ち返り、地域住民のニーズに基づく柔軟かつ効果的な取り組みを展開し、その存在意義を高めていくことが肝要です。

本大会は、社会福祉を取り巻く中央情勢を踏まえ、改めて社会福祉関係者に求められる基本的な視点を確認するとともに、連帯して地域の課題解決に積極的に取り組んでいくことを目的としており、行政・社会福祉関係者の積

極的な参加をお願いします。

**大阪府立大学**

**関川芳孝教授を迎えて**

関川教授は、大阪府立大学人間社会学部教授として、社会福祉法及び社会保障法を専門分野とされています。

本大会記念講演では、現在の経済状況等を踏まえ、今後目指すべき社会福祉の姿と、県民（住民）及び市町村行政・社協・社会福祉施設・民生委員・ボランティア・NPOなどが、それぞれのような役割を持ち、どのように関わっていくのかについてご講演いただきます。



大阪府立大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 関川 芳孝 氏

<b>日時</b>	10月22日（金） 13時から15時50分	<b>日程</b>	13：00 開会（受付12：00） 13：05 記念講演「今、社会福祉関係者に求められているもの（仮題）」 大阪府立大学人間社会学部教授 関川 芳孝 氏 14：10 知事講話 福岡県知事・全国知事会 会長 麻生 渡 氏 14：40 休憩 14：50 総会・式典 15：50 閉会
<b>会場</b>	クローバープラザ アリーナ棟 大ホール		

8月23日に第1回運営委員会を開催し、**10月22日（金）福岡県社会福祉大会を開催**することが決定されました。

また、同委員会では、次のとおり、大会役員、運営委員会正副委員長が選任されました。

**大会役員**

	氏名	所属・役職
大会名誉会長	麻生 渡	福岡県知事
大会会長	平山良明	福岡県社会福祉協議会長
大会副会長	名和田新	福岡県共同募金会副会長

**運営委員会正副委員長**

	氏名	所属・役職
委員長	西田稔夫	福岡県児童養護施設協議会長
副委員長	原 嘉伸	福岡県老人福祉施設協議会長
〃	江頭貞元	飯塚市社会福祉協議会長

お知らせ

平成 22 年度 子育て支援研修会

# 子育て支援にかたろう

**講演** 「今、私たちにできること」～小さな命を育むために～

地域の子育て支援活動に詳しい山縣先生から、子育て支援の現状と課題、これから求められる子育て支援についてお話いただきます。

**講師** 山縣 文治 氏 (大阪市立大学 生活科学部 教授)

## 実践報告

地域の中で、活発に子育て支援に取り組んでいる方々に実践報告をいただきます。

太宰府ファミリーネット はらっば (福岡県)

サロンを卒業した人もスタッフとして残り、地域に根付いた活動を続けている子育てサロンです。

熊本市託麻原校区子育てネットワークの会

(熊本県)

民生委員・児童委員さんが取り組んでいる子育て支援の紹介です。地域の色々な団体と手をつないでサロンの開催や子育てマップ作りに取り組んでいます。

育 Men's 倶楽部ながさき (長崎県)

子育て中のお父さん、これからお父さんになる方が中心となり、季節の行事や交流会、シンポジウムの企画・運営など子育て支援に活発に取り組んでいるグループです。

**助言者** 山縣 文治 氏

■ 日 時 平成 22 年 10 月 3 日 (日)  
(9:55~15:00)

■ 場 所 福岡ファッションビル  
(福岡市博多区博多駅前2-10-19)

■ 定 員 120 名

■ 参加費 無 料 (要申込)

■ 託 児 無 料 (要申込) ※定員あり

## ■ 対 象

県内で子育てサロン活動など地域の子育て支援に関わる方、子育て中の方、子育て支援に関心のある方、市町村社協職員、市町村職員、民生委員児童委員等

## 【問合せ先】

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室  
TEL 092-584-3785

## ～よりよい福祉サービスの提供を目指して～ 福岡県福祉サービス第三者評価受審済証の交付について

福岡県社協では、福岡県から福祉サービス第三者評価事業を受託し、その事業の推進に努めています。

福祉サービス第三者評価を受審され、その結果について本会推進機構のホームページで公表された事業所に対し、「福岡県福祉サービス第三者評価 受審済証」を交付しました。

事業所の皆さん、よりよい福祉サービスの提供を目指して、積極的な受審をお願いします。



福岡県福祉サービス第三者評価受審済証

【問合せ先】 福岡県福祉サービス第三者評価推進機構

<http://www.fsw.or.jp/hyoka/top.html> TEL 092-584-3600 FAX 092-584-3605

## 11月13日(土)～14日(日)開催のイベント

### ふれあい市場

地元名産品や模擬店が大集合！

### 地域文化伝承コーナー

折り紙や竹細工など昔懐かしい手作りの文化を再発見。

### 絵手紙体験コーナー

一枚の絵手紙に想いを込めて…。心温まる絵手紙に出会えます。

### おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクール

県内の小学生が描いた自慢の「おじいちゃん・おばあちゃんの絵」を展示。

### スポーツレクリエーション体験コーナー

子どもから高齢者まで幅広く楽しめるニュースポーツを体験してください。

### ふくすくキッズ

絵本のおみきかせ、遊具コーナーなど、サロン情報も紹介します。

### シニア美術展

個性あふれる力強い作品が感動を与えます。

### 健康福祉コーナー

あなたの健康状態をチェック！健康相談も行います。

### 俳句・短歌交流大会

本年度の優秀作品を展示。



# スポーツ・文化祭

入場無料

## スポーツ・文化交流大会開催！

テニス 9月23日 / 博多の森テニス競技場

ダンススポーツ 10月3日 / クローバープラザアリーナ棟

剣道 10月17日 / 筑紫野市農業者トレーニングセンター

ソフトバレーボール 11月3日 / 若松体育館

太極拳 11月7日 / 九電記念体育館

アーチェリー 11月7日 / クローバープラザアーチェリー場

卓球 11月11日 / 福岡市民体育館

ゴルフ 11月12日 / 北九州地区：勝山御所カントリークラブ 福岡地区：二丈カントリークラブ  
筑後地区：福岡センチュリーゴルフ倶楽部 筑豊地区：若宮ゴルフクラブ

還暦軟式野球 11月13日 / 香椎浜球場 ペタンク 11月14日 / 大野城市総合運動公園

弓道 11月14日 / 博多の森弓道場 グラウンド・ゴルフ 11月14日 / 春日公園球技場

ウォークラリー 11月14日 / クローバープラザほか 囲碁 11月14日 / クローバープラザ

ウォーキング 11月14日 / クローバープラザほか

ゲートボール 11月19日 / 北野町体育センター ボウリング 11月21日 / 太宰府 J ボウル

将棋 11月21日 / 行橋市総合福祉センター「ウィズゆくはし」

ソフトテニス 11月23日 / 県営名島運動公園テニスコート



本大会は、高齢者のスポーツ・文化活動を通じた生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを積極的に支援し、はつらつとした高齢社会を築くことを目的に平成13年度から開催しています。

第10回目となる今回は、平成22年11月13日(土)から14日(日)の2日間にわたり、春日市のクローバープラザを主会場に福岡地域で開催いたします。

当日はファッションショー、ふれあい市場、合唱フェスティバル、民謡コンクールなど多彩な文化イベントを開催します。多くの皆様のご来場を心からお待ちしています。

問い合わせ先 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局  
(福岡県社協 地域福祉部 生きがいづくり課)  
TEL 092-584-1401



# 第10回福岡県ねんりん

11月13日(土)~14日(日)

メイン会場 クローバープラザ

## 11月13日(土)開催のイベント

総合開会式

- オープニングアトラクション
- 表彰式
- 記念講演



講師 衣笠 祥雄 氏

演題「限りなき挑戦」

ねんりんファッションショー

おしゃれおじいちゃん、おばあちゃん集まれ!



## 11月14日(日)開催のイベント

民謡コンクール

歌い継がれてきた民謡に心かよわせ感動してください。

## 合唱フェスティバルのお知らせ

日時 11月15日(月)

会場 大野城まどかびあ

ねんりん合唱団の美しい歌声をお楽しみください。



# 「赤い羽根共同募金 ありがとう」

これまでに共同募金の配分を受けた施設・団体・町内会等から寄せられた喜びの声、その一部を紹介します。

あたたかな気持ちでつながる手づくり弁当  
ほのぼの弁当配食・会食会（朝倉市）

朝倉市内の各地区社協では、一人暮らしや高齢者のみの世帯を対象に、地域のボランティアの方々が、お弁当の調理から配達までを行っており、月2回程の配食と年4回の会食が行われています。

利用者からは「一人暮らしで、日頃の食事が偏ってしまいがち。心のこもった手づくりのお弁当が楽しみです。」また、会食に参加された方からは「地域のひととの触れ合いがあり、毎回待ち遠しいです。」との声が寄せられています。

共同募金を財源とする配食・会食を通じて、同じ地区に住むご近所さんによる見守り活動を行うとともに孤立させないための地域のつながりが広がっています。



ほのぼのの弁当配食（朝倉市）

グラウンドゴルフで世代交流  
こどもボランティアチャレンジ（鞍手町）

鞍手町社協では、鞍手町老人クラブ連合会の協力により、町内の小学生と高齢者がグラウンドゴルフを通じて交流を深める世代間交流を行っています。

参加した小学生は、「グラウンドゴルフは初めてだったけど、おじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらったので、すぐできるようになりました。」「自分の家の近所にこんなおじいちゃんやおばあちゃんが住んでいることを知って驚きました。また、いっしょにグラウンドゴルフがしたいです。」と地域の高齢者との交流を楽しみにしています。

共同募金を財源として、子ども達も他世代との交流によるボランティア体験を行うことで「やさしさ」を育むとともに、地域での世代間交流を促進し、様々な世代が安心して暮らせる町づくりを行っています。



こどもボランティアチャレンジ（鞍手町）

## ハートがつなぐ地域の輪

・・・赤い羽根共同募金



**共同募金は地域の身近な福祉に役立てられています。**

10月1日から始まる赤い羽根共同募金は、地域の身近な福祉に役立てられています。皆様のご理解と協力をよろしくお願いします。

# 「赤い羽根自販機」設置協力者募集!!

## 設置することが「社会貢献」に繋がる「赤い羽根自販機」とは？

飲み物を購入すると、その売上の一部が、赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機のことです。

販売業者などが、売上に応じて赤い羽根共同募金に寄付を行い、その募金は、**地域の福祉活動**に役立てられます。

設置者、購入者、地域社会に、いろいろな**メリット**がある赤い羽根自販機の新規設置、既存の自販機の変更、設置先の紹介などにご協力をお願いします。



設置いただいた拾六町病院（福岡市西区）

- 【設置者】**
- ①販売業者から、売上の13%～20%が、手数料として毎月支払われます。
  - ②費用をかけず、**地域社会への貢献**ができます。（**設置企業のイメージアップが図れます**）
  - ③購入者が、募金付きの自販機を選ぶことで、設置自販機の**売上向上**が見込めます。
- 【購入者】** 購入するだけで手軽に募金に協力でき、身近な地域の福祉活動に貢献できます。
- 【地域社会】** 売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付されるため、地域福祉推進の財源が増えます。

## 私たちの「身近な地域の福祉活動」に使われている「赤い羽根共同募金」



地域での高齢者サロン活動

赤い羽根共同募金にお寄せいただいた募金は、「高齢者サロン」や「見守り訪問」などの**高齢者が住みやすい町を作るための活動**、「子育てサロン」や「子育てに関する講座の開催」など、**子育てがしやすい町を作るための活動**、「障害者が働く作業所の支援」や「福祉施設の備品整備」など、**障害者が暮らしやすい町を作るための活動**、平成21年度の「福岡県7月豪雨災害」の際にも活用した**災害時のための積立金**など、**福岡県の身近な福祉活動**に活用しています。

## 売り上げの「13%～20%」が、「設置者の収入（販売手数料）」に！

設置していただいた方には、販売業者から売り上げの13%～20%が販売手数料として支払われます。

**自販機は無償貸与、設置に伴う経費も無料**で、**自販機の管理や商品の補充、故障時の対応**はもちろん、**空き容器的回収、釣銭の管理**など、**すべて販売業者が行います**ので、設置いただく方の負担は、設置場所の提供と月々の電気代のみとなります。

	伊藤園	サッポロ飲料	ハートフル福祉募金	アサヒみどり販売
設置者の収入	売上の20%	売上の20%程度	売上の13%	売上の20%
取扱商品	伊藤園	サッポロ飲料	アサヒ飲料、大塚ペパレジ他	アサヒカルピス、大塚製薬

詳しい内容については、福岡県共同募金会まで

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階 TEL 092-584-3388 FAX 092-584-3386

## 社会福祉施設役職員 管理系研修

### 施設経営者に求められる リスクマネジメントと災害時の対応

福岡県社協では、「社会福祉法人・施設経営に関するリスクマネジメント」をテーマに、8月23日、24日の両日、クローバープラザ（春日市）で、社会福祉施設役職員研修管理系研修を開催し、220名の法人経営者の方々が研修を受講されました。

講師は、株式会社インターリスク総研の上席コンサルタント砂川直樹氏で、現在、福祉・医療分野におけるリスクマネジメント及び社会制度に関する調査研究、コンサルティングに従事されており、全社協中央福祉学院や各福祉団体の講師等で活躍されている方です。

講義では、リスクマネジメントの

基本要素を再認識し、福祉サービスにおけるリスクマネジメントの取組の全体像と要点を理解するとともに、事故が発生した場合に事業者が負う法的責任の仕組みや事故後の対応など事業者が備えておくべき事項について学びました。

事例研究では、いくつかの想定シナリオをもとに対応の仕方をグループで話し合い、管理者の基本行動を学びました。

また、災害時も福祉施設ではケアの提供を継続することが求められることから、被災に備えて準備すべき事項や地域貢献のあり方について学習しました。



(株)インターリスク総研 上席コンサルタント 砂川直樹氏



【問合せ先】研修部 研修課  
TEL092 - 584 - 3401

## 西部ガス株式会社が

### 口蹄疫被害義援金として、

### 宮崎県事務所に寄付

西部ガス株式会社（福岡市博多区）は7月28日に、宮崎県の家畜伝染病「口蹄疫」で被害を受けた畜産農家への義援金を宮崎県福岡事務所へ寄付しました。

同社の執行役員 平島孝三郎氏は「畜産農家の1日も早い復興と宮崎県全体の立ち直りを祈っています」

す。」と宮崎県福岡事務所の村上昭夫所長に、社員に呼びかけて集まった273,101円と、会社からの義援金100万円の目録を贈りました。

【問合せ先】総務部 広報室  
TEL092 (584) 3377



西部ガス株式会社 執行役員 平島孝三郎氏（右）から、宮崎県福岡事務所 村上昭夫所長（左）に義援金目録を贈呈



# 相談あれこれ

このページは、Q & A形式で、認知症に関わる、高齢者の生活問題について取り上げ、それに対する対応策や制度について紹介します。

## Q 認知症の方の過食及び食欲減退について

91歳になる祖母は、物忘れが進み、かかりつけ医に軽度の認知症と診断されました。最近、祖母は満腹感がないようで、散歩の際、一人では食べきれない量のお菓子を購入しては、昼食から夕食までの間に食べてしまっています。

また、近所に住む認知症の男性(80歳)は、お茶碗半分ほどしか食事をとらないと言って、ご家族が心配されています。かかりつけ医もやせてきたことに気付いて血液検査などしましたが異常ないようです。

認知症の方の過食及び食欲減退について対処法を教えてください。

## 認知症の方の過食について

認知症の人の中には、食べたことの記憶が不確かで、食事が1日3回以上になる方がいます。

食べたのに「食べてない」と言われる場合は、1食の量を少な目にし、回数を増やすことも考えられます。また、食卓の片づけをすぐにはせずに、食べたことを納得させる方法でうまくいくこともあります。ご本人が納得のいく方法を工夫することが必要です。

## 認知症の方の食欲減退について

一般に高齢になると食事の量は少なくなってきました。80歳で、ご飯が茶碗に半分位なら、このことだけでの心配は要らないでしょう。副食に、好きなものを交え、タンパク質と野菜を多めにした献立はいかがでしょう。

## A 適度な食事と運動を取り入れた生活様式の改善を

### かかりつけ医に相談し、

### 生活様式の見直しを

認知症の方が過食や食欲減退がある時は、ご本人の健康状態に問題がないか知ることが必要です。まず、かかりつけ医に相談しましょう。

その際、1日の食事量や生活の様子をメモしておく、医師に的確に伝えることができます。

過食、食欲減退、どちらの場合でも、日中に適度な運動を行うことが必要です。

かかりつけ医や地域包括支援センターを通じて、日中は、デイサービスやデイケア等で身体を動かしたり、その方の趣味の時間を増やすなど、生活に充実感を持てるような生活様式の見直しを図りましょう。

## 認知症電話相談

福岡県社会福祉協議会 高齢者総合相談事業  
TEL 092-584-3317

認知症予防に関する質問、認知症の症状、介護の仕方等に関する相談、家族介護における心構えや具体的な接し方、介護疲れや悩みの相談などお気軽にご相談ください。

○担当相談員：介護経験者  
(認知症の人と家族の会福岡県支部)  
相談日 火曜日、金曜日  
相談時間 10:00~16:00

○担当相談員：保健師  
(福岡県在宅保健師若草会)  
相談日 木曜日、土曜日  
相談時間 10:00~16:00

## 高齢者サークル紹介

# いつまでも仲間と笑顔でいたい!

### 太宰府市グラウンド・ゴルフ飛梅クラブ

今回は、太宰府市で活躍中の「太宰府市グラウンド・ゴルフ飛梅クラブ」を紹介します。

このサークルは、当時の会長が、「グラウンド・ゴルフは、誰でも、どこでも、いつでも手軽に仲間と楽しくできる、面白いスポーツ」と思い、仲間と一緒にに会員を募り、平成6年10月に設立しました。

今年で16年を迎え、現在、59歳から87歳までの78名のメンバーが在籍し、会長の宝亀礼助さん（74歳）を中心に、毎週火曜日、金曜日に太宰府市吉松歴史スポーツ公園多目的広場で活動しています。



サークルで最高齢の牧野博さん（87歳）は、「友人に勧められて、飛梅クラブに入会して、早12年の月日が過ぎました。生涯スポーツとして週2回、飛梅クラブの皆様助けられ、練習や大会、クラブの行事等に参加させていただいています。」

サークルに参加していて、最もうれしかった事は、平成21年の筑紫支部大会で、個人優勝と最高齢者賞及びダイヤモンド賞の3賞をいただいた事、そしてこのことを飛梅クラブの仲間たちから祝福された事です。この日のことは、一生忘れられません。今後も健康第一に、グラウンド・ゴルフを楽しみたいです。」と語ってくれました。



互いのプレーを観察しあって大変研究熱心です

代表の宝亀さんは、「グラウンド・ゴルフは、高齢者にとって、心身の健康の維持と活力の

ある豊かな仲間づくりにも、最もふさわしい生涯スポーツだと思います。そして、共通の趣味や関心を持つ人達を見つけ、飛梅クラブに少しでも多くの方に入会をしていただけるよう皆で楽しくやって行きたいです。」と笑顔で話してくれました。



太宰府市グラウンド・ゴルフ飛梅クラブのみなさん

高齢者サークルに関する問合せ先  
(サークル取材も承ります)

地域福祉部 生きがいづくり課

Tel 092 (584) 1401

# お知らせ 掲示板

\* 9月から10月の行事予定について紹介します。

## お知らせします

### 第8回読売福祉文化賞について

#### 目的

社会福祉の各分野で21世紀を切り開く創造的な業績をあげ、障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加の推進などに貢献している団体、個人を励まし、豊

かな福祉社会づくりの一助とすることを目的とします。特に新しい活動を始めた人たちを応援していきます。

#### 対象

- (1) 公益性のある創造的な事業で、ハンディを持つ方や地域の人々に元気を与え、ネットワークを広げている。
- (2) 個人または団体が生きいきとした活動の場を持てる支援や企画を実践している。
- (3) 福祉の現場において、様々な文化の向上に尽くしている。
- (4) 明確なテーマを持って、目覚ましい実績をあげ、将来も継続、発展が期待できる。

#### 表彰部門

- 一般部門 3件
- 高齢者福祉部門 3件

※賞牌と活動支援金各100万円

#### 応募方法

- ・事業団のホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入し、事務局へ郵送してください。
- ・候補者の活動の業績を示す資料や写真(3点)がありましたら、添付してください。添付資料・書類は原則として返却いたしません。添付資料はA4サイズ3枚まで。

**選考方法** 当事業団が委嘱する選考委員会で審査・選考を行い、決定します。

#### 審査発表

・2010年11月ごろに読売新聞紙上で発表の予定です。

・2010年12月に表彰式の予定です。

**応募締切** 平成22年9月30日(木)

#### 申込・問合せ先

社会福祉法人 読売光と愛の事業団「読売福祉文化賞」事務局  
〒100-8055 東京都千代田区大手門1-7-1  
TEL03(3216)4921  
URL <http://www.yomiuri-hikari.or.jp>

**地上デジタル放送を見るための簡易なチューナー無償給付などの支援について(受付申込期間が延長になりました)**

皆様方がご覧になっているテレビ放送(アナログ放送)は2011年7月24日で終了します。それまでにテレビを「地上デジタル放送」対応にかえていただく必要があります。

#### 支援の内容

経済的な理由で地上デジタル放送受信機の購入などが困難な世帯に対しては、現在、ご覧になっているテレビのまま、地上デジタル放送を見られるようにするための簡易なチューナーの無償給付やアンテナの無償工事による支援が行われています。

#### 対象となる世帯

次のいずれかに該当し、NHKの

放送受信料が全額免除となる世帯です。

(1) 生活保護などの公的扶助を受けておられる世帯。

(2) 障害者の方がおられて、世帯全員が市町村民税非課税の措置をうけておられる世帯

(3) 社会福祉施設に入居されている世帯

※今年5月にNHKから「受信料全額免除証明書」と「申込書」が送付された方は早めに簡易なチューナー無償給付の申込をお済ませください。(申込書は従来のものでご使用ください。)また、受信料が全額免除になっていない世帯については、早めにNHKへの手続きをお願いします。

#### 申込締切

平成22年12月28日(火) 当日消印有効

※申込受付期間が延長になりました。

#### 問合せ先

総務省地デジチューナー支援実施センター  
TEL0570(033840)  
FAX044(966)8719  
福岡県 企画・地域振興部 情報政策課  
TEL092(643)3229  
FAX092(643)3226

## 社会福祉施設総合損害補償

# しせつの 損害補償



ホームページでも内容を紹介しています。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設の  
さまざまなリスクに対応

### プラン1

#### 施設の業務中事故 賠償補償

- ①基本補償
  - 基本補償(A)は、法人業務を包括的に補償
  - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合でも、基本補償(A)に加え見舞金も補償
- ②個人情報漏えい対応補償
  - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含む)に補償
  - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

### プラン2

#### 施設利用者の傷害事故補償

- ①入所型施設利用者
- ②通所型施設利用者
- ③不特定多数利用者

### プラン3

#### 施設送迎車搭乗中の 傷害事故補償

- 施設送迎車に搭乗中の傷害補償
- 自動車保険など、他の保険と関係なく補償

### プラン4

#### 施設職員の災害事故補償

- ①施設の労災上乗せ補償  
労災加入職員等全員が対象
- ②施設職員の傷害事故補償  
役職員や実習生等を対象
- ③施設職員の感染症罹患事故補償  
常勤のみならず非常勤職員も対象とするタイプもあります。

### プラン5

#### 施設の什器・備品 損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため、個別契約より有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧、かつ適正なお支払い

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記にお願いします

団体契約者

社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

(SJ07-11869, 2008. 2. 27作成)

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して行う団体契約(「賠償責任保険」、「傷害保険」、「労働災害補償保険」、「約定履行費用保険」、「自動車総合保険」)です。



子育て支援のための活動にも…

高齢者の生きがづくり活動や見守り活動の応援にも…

# ハートがつなぐ地域の輪 …赤い羽根共同募金



障害者の移動や就労の応援にも…

災害時のボランティア活動にも…

共同募金は、身近な地域福祉活動に使わせていただいています

社会福祉法人 福岡県共同募金会  
春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階 【TEL】092-584-3388

【運動期間】 10月1日～12月31日

